

第9回 宇陀市子ども・子育て会議 会議録

開催日時	平成29年4月8日(土)午後2時～
開催場所	宇陀市役所 大会議室

○子ども・子育て会議開催

(1)開会	
(2)会長挨拶	上野会長あいさつ ・国においても幼・保・小の連携を強く望んでいる。それらを踏まえながら次代を担う宇陀市の子どもたちのために委員各位ご尽力いただきたい。
(3)議事案件	① 宇陀市子ども・子育て支援事業計画における平成28年度の見込に対する実績及び状況について ② 平成29年度教育・保育施設の入所状況について ③ 菟田野こども園の設置に向けた進捗状況について ※上記について事務局より説明及び報告
質疑・意見	
委員	・資料(12)の実費徴収に係る補足事業を行う事業について、「国の方針を見極めながら、取組みを検討する」となっているが、現在、宇陀市として検討していることはあるか。 ・資料(13)の多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業について、現在、参入予定企業等はあるか。
事務局	・資料(12)の実費徴収に係る補足事業を行う事業について、保育料以外の教材費や行事参加費等について、低所得者の方に対する何かしらの措置を現在、宇陀市は行っていませんが、市単独事業となる「びかびか1年生事業」という、学用品の購入等、何かと入用となる、新小中学1年生のご家庭にウッピー商品券(1万円分)を給付させていただいております事業において、各家庭が学用品等を商品券にて購入していただいておりますので、これも支援のひとつかと考えております。 ・資料(13)の多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業について、現在、参入予定企業等はありません。
委員	・子どもの人口の減少や人口の流出に危機感を抱く。宇陀市に住んでよかったと思ってもらえる、人口が流入するような計画を進めていただきたい。
会長	・宇陀市においても多くの子育て支援に係る事業がありますので、今後一層PRに努めていただきたい。
委員	・保育教諭の方々の大変さがよく分かる。保育教諭に対するサポートについて市はどのように考えているのか。
委員	・確かに介護職、保育職につきましては、非常に成り手が少なくなってきたのが現状であります。そのような状況で、採用段階において募集をかけるわけですが、なかなか思い通りの採用ができません。しかし、子どもたちに必要となる保育教諭の確保は今のところ出来ている状況です。また宇陀市では、特別支援が必要な場合における加配基準につきましても、国の基準を上回る配置をしている状況です。社会福祉法人であるしらゆり保育園におかれましても大変なことと思われませんが、何とかそのあたりは確保している状況です。ただ、正規職員と臨時職員で少し給与に違いが出てきますので、このあたりを調整していかなければならないし、仕事の内容も正規職員と臨時職員の違いをつけながら給料分で差をつけていくことも考慮しながら進めているところです。臨時職員につきましても3年前に処遇改善の一環として、それまでは時間給であったのを、定期的に働きたい方には月給制に切り替えるなど、少しずつではありますが、処遇改善に取り組んでいます。現段階においてはこのような回答しかできませんが、委員のご意見を気に留めながら今後も教育保育の充実を図りたいと思っています。

<p>委員</p>	<p>・今後の子育て支援の方向性について、資料(5)子育て支援センター事業(地域子育て拠点事業)の利用が相当増えている。当初見込みが890名であったものが、平成28年度実績として2,000人を超える実績となっている。</p> <p>これが何を意味するかと言いますと、幼稚園、保育園に預けるまでの保護者の方々が、子育てへの不安感を相談する場所、友人作りの場所などを求めていることが顕著に分かる。</p> <p>これらを重視しながら、子育て支援センターとこども未来課が連携を図り、上手くサポートしていく形を作っていきたい。</p> <p>・もう一点は菟田野こども園の件ですが、現在の菟田野保育所が老朽化していること、また幼稚園がないというようなことで、合併当初からそういったご意見もお伺いしながら進んでいる。菟田野は合併当初から、約20人程度の出生者人数がずっと続いている実情も踏まえながら、子育て環境づくりに取り組んでいきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>・皆様方のご協力をいただきまして無事に議案のすべてを終えることができました。今後とも宇陀市の子ども子育て支援のために委員の皆様方にご尽力いただきまして素晴らしい宇陀市になることを願ってごあいさつに代えさせていただきます。</p>
<p>(4)閉会</p>	